

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1. ユネスコスクール支援活動

三重県のユネスコスクール拠点大学として、県内のユネスコスクール加盟校・申請校と産官学民の連携による地域・国際ネットワーク支援活動を行った。

①トヨタ自動車（株）との連携による「AQUA SOCIAL FES!! in 松名瀬（ラムサール条約登録を目指して世界に誇れる松名瀬海岸へ）」

2016年5月14日と10月30日に、伊勢湾最大の干潟である松阪市松名瀬干潟において、トヨタ自動車（株）と三重大学との連携による、ユネスコスクール加盟校の三重中・高の教職員と学生、ユネスコスクール登録をめざしている松阪市内の小・中・学高校の教職員と学生、松阪市、三重県、住民など400名の参加者は、産官学民の連携による干潟清掃と生物多様性学習を行った。自然豊かな水環境を未来に残すために、自然と人間との調和の取れた持続可能な社会のため、三重県初のラムサール条約登録に向けて継続的に活動することとなった。

② 中部電力（株）との連携による「夏休みエネルギー自由学習」

2016年8月6日から12日に、「四日市公害と環境未来館」において、中部電力（株）と三重大学との連携による、夏休みエネルギー自由学習を実施し、ユネスコスクール加盟校の四日市高校生及びユネスコスクール登録を目指している幼稚園児と保護者や先生、小学生と中学生の90名が3回にわたる講座に参加した。川越火力発電所テラ46の見学、電気の仕組み学習、人力による発電、紙芝居などを通じて、エネルギーについて学ぶことができ、毎年、行う事となった。

③ 「日韓青少年水フォーラム国際ネットワーク2016」活動支援

2016年7月26日から29日まで韓国水原市で開催された「日韓青少年水フォーラム国際ネットワーク」に、ユネスコスクール加盟校の名張市の5つの中・高校生と教職員、ユネスコスクール登録を目指している亀山高校生と教職員の16名が参加し、水環境活動を発表し、ユネスコ世界遺産の水原市の華城（7つの水門のある城）や水源地の見学、日韓青少年水環境宣言、国際ユース水環境ネットワークを構築した。韓国水原市の財政的支援を受けて、毎年、夏休み期間中に開催されることとなった。

2. ESD 活動

文部科学省のユネスコ活動費補助金グローバル人材の育成に向けた ESD の推進事業「三重ブランドのユネスコスクールコンソーシアム」事業を中心に ESD 活動を行った。

①「クレーターレサミット in 三重 2016」開催

2016年4月のジュニアサミット in 桑名、5月の伊勢志摩サミットに伴い、三重大学は、県内のユネスコスクール加盟校及び登録を目指している小中高大学との連携によって、クレーターレサミットプロジェクトを行った。ラテン語のクレーターは、創造する意味であることから、三重大学生を中心とする、県内のユースによる、ユースのための、ユースの活動を活発に行った。世界の10カ国から100名を超えるユースが三重大学及び桑名市、伊勢市、鈴鹿市に集まり、ワールドカフェによるユースの提言、宣言、国際ユースネットワークの構築・運営の成果をあげた。環境保全、文化遺産の継承、男女共同参画の推進、国際化の加速化、国際ユースネットワークの構築などを柱とするクレーターレサミットユース宣言文は、11月5日に、三重県の鈴木英敬知事や伊藤徳宇桑名市長などに手渡され、三重県

や桑名市、伊勢市、鈴鹿市、名張市、亀山市など三重県の自治体の政策として盛り込まれ、実行することとなった。

②「ポストジュニア・サミット in くわな 2017」開催

2017年1月28日に、桑名市六華苑において、「ポストジュニア・サミット in くわな 2017」を開催した。2016年4月の桑名ジュニアサミット及び5月の伊勢志摩サミットの開催によって三重県の知名度が上がり、三重県の地域資産を利活用した観光産業の活性化や国際化の加速化が期待できることから、次世代を担う県内の高校生、三重大学生や留学生のドイツ、スウェーデン、韓国、中国、台湾、日本の6カ国・地域の80名が桑名市六華苑に集まり、ワールドカフェ形式の分科会において活発な意見交換を行い、六華苑の観光資源としてのPRのために、若者の企画による自作映画を作ることを盛り込んだ提言書が、伊藤徳宇桑名市長へ手渡され、桑名市の政策に反映されることとなった。

③「三重大学ユネスコスクー研修会・評価 2016」開催

2017年1月28日の午後1時から、桑名市六華苑において「三重大学ユネスコスクー研修会・評価 2016」が開催された。朴 恵淑教授から、文部科学省の持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業として、平成28年度の「三重ブランドのユネスコスクールコンソーシアム事業」の成果及び今後の発展的展開について発表が行われた。その後、名張市立コモハラ小学校、梅村学園三重中・高校、セントヨゼフ女子学園高校・中学校、四日市高校、津田学園高校、桑名高校、三重大学ユネスコクラブ、クレーレサミット学生委員会、男女共同参画学生委員会、ESD学生委員会、環境ISO学生委員会の活動報告が行われた。

韓国世宗大学校電子情報通信工学部長の朴 己煥教授、日本女子大学人間社会学部の池田和弘講師、三重県教育委員会、桑名市教育委員会の関係者を交えた評価会が開かれ、更なる発展的展開のための戦略についても意見交換が行われた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（教員組織；ユネスコスクール委員会；委員は学長委嘱、
学生組織；環境ISO学生委員会、男女共同参画学生委員会、
防災学生委員会、ユネスコクラブなど、複数の学生
委員会の組織が合同で活動を行う）